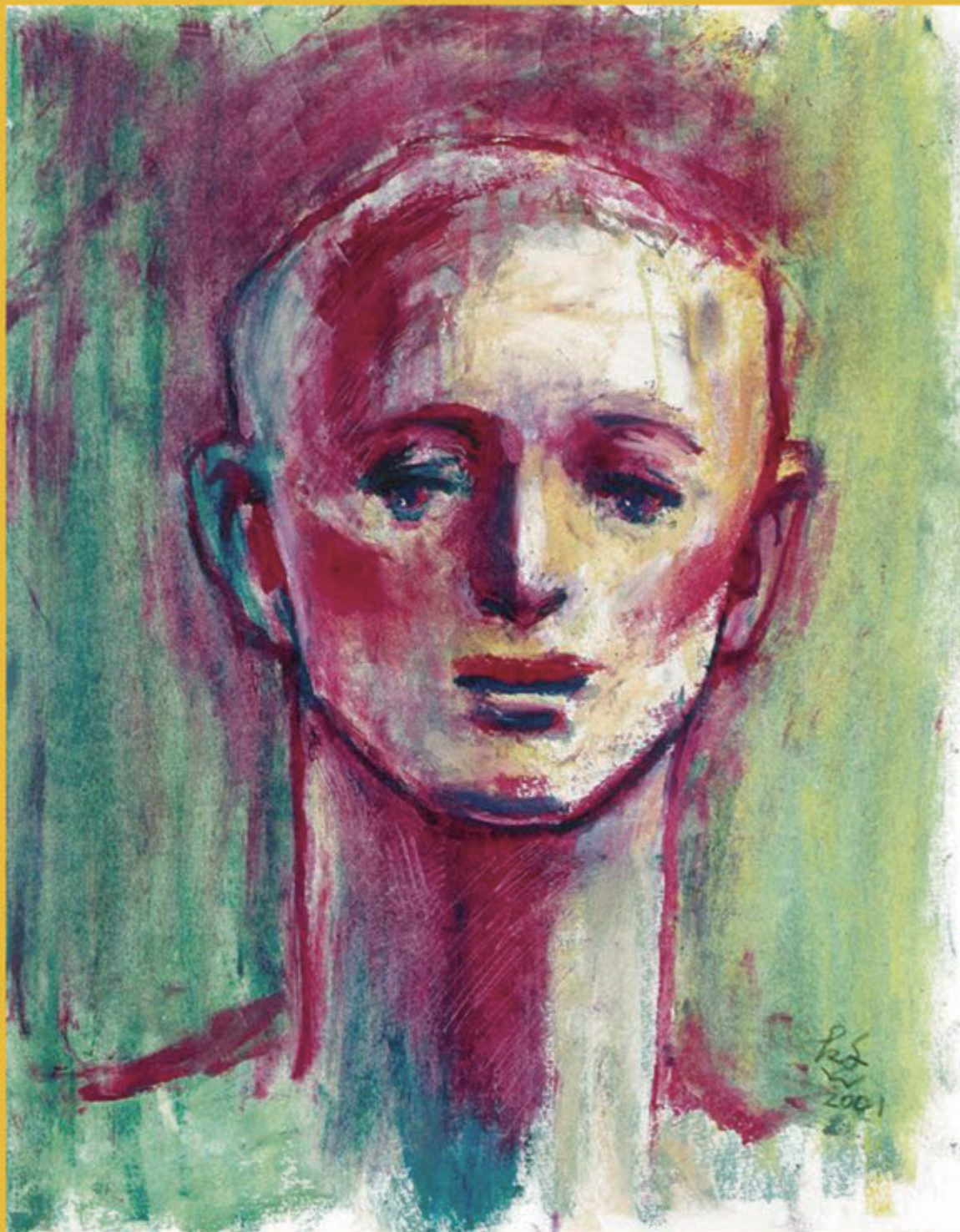


— 近代の巨匠から現代の作家まで

表現の広がりと可能性を求めて —



舟越桂(習作)2002年 サクラアートミュージアム蔵

# 特別展 クレパス画 名作展

2021年2月10日(水)～3月14日(日)  
東大阪市民美術センター 第1・2・3展示室

入場料:500円【中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(介助者1名を含む)、  
65歳以上(生年月日記載があるもの)の提示が必要)は無料】

開館時間:10:00～17:00※3月5日(金)は20:00まで開館  
(最終入場は閉館時間の30分前まで) / 休館日:月曜日

主催:東大阪市民美術センター(指定管理者 東大阪花園活性化マネジメント共同体  
HOS株式会社)、産経新聞社

協力:サクラアートミュージアム、株式会社サクラクレパス、  
株式会社ターレンズジャパン、株式会社アムス

東大阪市民美術センター

来館の際は、マスクの持参・着用をお願い致します。  
なお、入場制限を行う場合があります。  
感染予防対策については、ホームページをご覧ください。

HPIはこちらより▼





## 描く楽しさは、クレパスから始まった。

「子どものころ、初めて手に取った画材はクレパスだった」という方は、少なくないのではないでしょうか。そんな郷愁と親しみ深さから、クレパスは子ども向けの画材というイメージがありますが、多くの作家がその風合いに魅了され、クレパスを使うことにより表現の幅を広げてきました。本展ではそんなクレパスに魅了された近代日本画壇の巨匠から現代美術作家まで、約80名の作家によるクレパス画100点を一堂に紹介します。梅原龍三郎、小磯良平、岡本太郎、舟越桂、鴻池朋子などによる作品から、クレパスによる多彩な表現方法とその広がり、可能性に迫ります。



### 【関連イベント】

#### ギャラリーレクチャー「クレパス画の愉しみ」

講師：清水靖子（サクラアートミュージアム主任学芸員）

①2021年2月13日（土） 14:00～15:00

②2021年2月20日（土） 14:00～15:00

事前申込み制 ○定員：各回30人 ○参加無料（要入場券）

### 【申込み方法】

往復ハガキで、イベント名「クレパス画展イベント」、希望日、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、お申し込みください。（1枚の往復ハガキにつき1人申込）

※定員を超えた場合は抽選になります。

締切：2021年2月5日（金） 必着

（左上から時計回りに）

伊藤康（鳩とベコニヤ）制作年不明、鴻池朋子（Little Wild Things）2015年

熊谷守一（裸婦）制作年不明、岡本太郎（鳥と太陽）制作年不明

すべてサクラアートミュージアム蔵

## 東大阪市民美術センター

指定管理者：東大阪花園活性化マネジメント共同体 HOS株式会社  
〒578-0924 東大阪市吉田6-7-22 TEL: 072-964-1313

HP: <https://higashiosaka-art.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/ham1313art/>

近鉄奈良線「東花園」駅より北へ徒歩約10分

東大阪市花園ラグビー場南側

